

出逢ってはいけない二人だった——

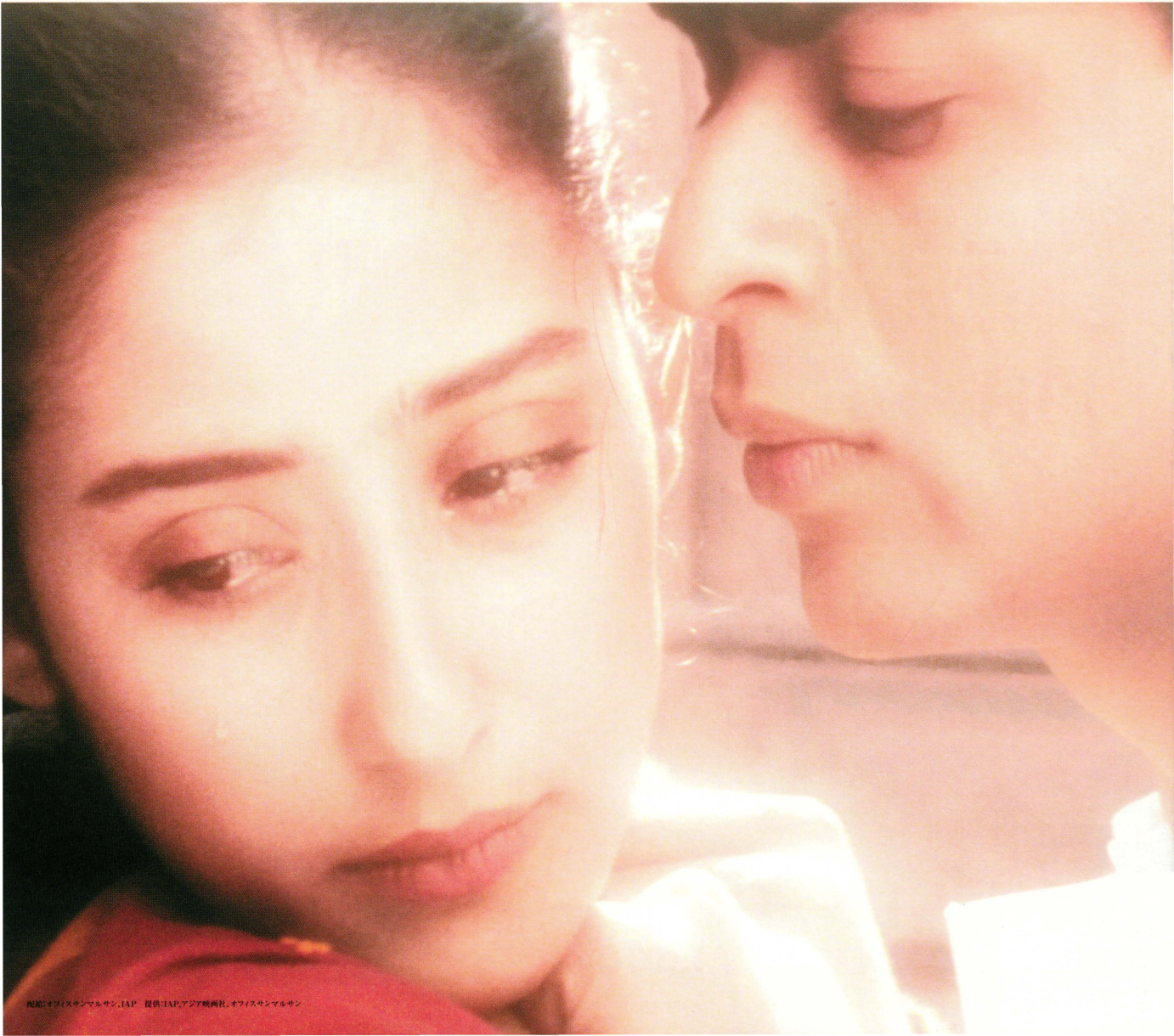
デイル・セ 心から

DIL SE..

BIHARAT SHAH presents INDIA TALKIES 'Dil Se.' a MANI RATNAM film SHAHRIKH KHAN MANISHA KOBRAJA PRETTY ZINTA
Cinematography SANTOSH SWAMY Music A.R. RAHMAN Lyrics GULZAR Art Director SAMIR CHANDIA Editing SEETHU LUIS
Choreography FARAH KHAN Screen ALLEN AMIN, Anubhav K. H. SRIDHAR Dialogue SUJATHA, TIGMANSHI DHILLIA
Executive Producers SHEKHAR KAPUR, RAMGOPAL VARMA, MANI RATNAM Story Screen Play, Direction MANI RATNAM



マニシャー・コイララ 『ボンベイ』 シヤールク・カーン 『DDLJ』 製作/シェーカル・カプール 『エリザベス』 監督・脚本/マニ・ラトナム 『ボンベイ』

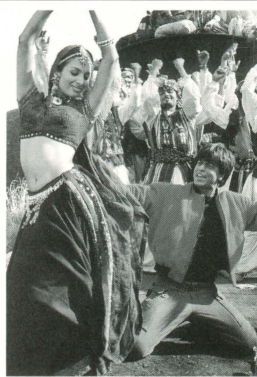


インド北方の遙かな荒野に芽ばえた壮絶な愛の物語。
『タイタニック』『イングリッシュ・ペイシエント』『シュリ』に続く超大作ラブストーリー!!

◆イギリスで大ヒット!!

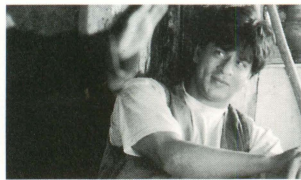
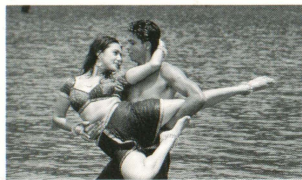
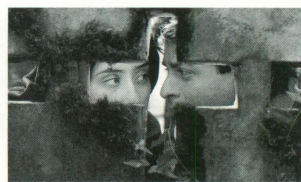
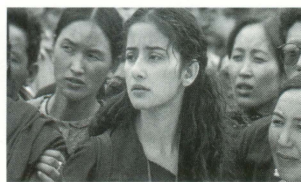
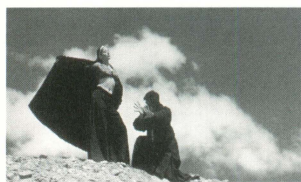
全英興行成績TOP10入りを果たした史上初のインド映画!
ハリウッド大作を超える傑作を連打し、インドでただ一人監督の名で観客が殺到する若き巨匠マニ・ラトナム。日本でも『ボンベイ』が大ヒットした彼の新作が「ディル・セ 心から」。「エリザベス」の監督シェーカル・カプールのプロデュースのもと、チベットに接するインド・中国の国境地帯で極秘裏のロケーションを敢行したこの超大作は、そのペールを脱ぐなりインド中で熱狂的に迎えられた。そしてイギリスでも大ヒットを記録し、ハリウッド大作に伍して堂々TOP10入りを果たすというインド映画初の快挙を成し遂げたのだ。

主演のマニーシャー・コイラは(ミュージカル・シーン以外)全篇ノー・メイクでそのはかなげな美しさを一層際立たせ、正真正銘インド最高の大スター、シャー・ルク・カーンは念願叶ってのマニ・ラトナム作品初出演。従来のインド映画の枠を大きく超える話題満載の傑作がいよいよ日本登場となる。



◆疾走する列車上で歌い踊る!
ロイド=ウェバー脚を驚愕させた
超絶ミュージカル!!

オープニングを飾る、疾走する列車上での驚異の群舞は世界のミュージカル史上に残る傑出した出来。なんとミュージカル界のカリスマ、あのアンドリュー・ロイド=ウェバー(「キャッツ」「オペラ座の怪人」etc.)も熱狂し、即座に音楽監督A・R・ラフマンのロンドン招聘を決めた。作曲家である彼が他の作曲家に惚れ込み、新作ミュージカルをゆだねると言う「異常事態」を引き起こした「ディル・セ 心から」は、イギリスの新世紀を切り開く架け橋となったのだ。



大都市に暮らす裕福な青年と、辺境でテロリストとして教育された女。
出逢ってはいけなかった男と女の愛の行き着く先は…

インド北東部の辺境で反政府活動を取材するジャーナリストのアマルは、深夜の駅頭で謎めいた美女メグナに出逢う。無情にも彼女を乗せて去っていく列車を見つめながらアマルはつぶやく。
「世界一短い恋の物語だ……」
彼の生涯を大きく左右する運命の出逢いと知らずに……

DIL SE..

ディル・セ 心から

“DIL SE”はヒンディー語、“FROM THE HEART”の意。=心から

1998/インド/オリジナル・ヒンディー語版/2時間47分(8巻)/シネスコ/14+

監督・脚本・製作:マニ・ラトナム 製作:シェーカル・カプール
撮影:サントーシュ・シヴァン 音楽:A・R・ラフマン(「ボンベイ」「ムトゥ」)
主演:マニーシャー・コイラ、シャー・ルク・カーン、フリーティ・ジンタ India Center presents

8月独占ロードショー!
特別鑑賞券絶賛発売中! ¥1,600 (税込)

●劇場窓口、他チケットびあ等有名プレイガイドにてお買い求めになれます。
●当日料金:一般1,800円/大高生1,500円/小人・シニア(60歳以上)1,000円(税込)

コマ劇場向い TOKYU MILANOビル3F
シネマスクエア
とうきゅう
03 (3202) 1189

【当劇場は座席でのご飲食はご遠慮いただいております。
ロビーにてお召し上がりください。】

